

## 環境社会貢献

リコーグループは、企業が地球市民として行動することはもちろん、社員一人ひとりが、自主的に社内外で環境保全活動を実践できることが重要であると考えています。リコーでは「環境ボランティアリーダー養成プログラム」などによって社員の意識向上を図る一方、環境社会貢献活動をしやすい場がある企業であることを目指して、さまざまな活動を展開。地域社会を巻き込んだ活動を通じて、地球市民としての意識や行動を、多くの人に広げていこうとしています。

### 環境ボランティアリーダーの養成

リコーでは、社員一人ひとりの自主的な環境ボランティア活動を支援するために、1999年から「環境ボランティアリーダー養成プログラム」をスタートさせました。プログラムは、「リコー自然教室」と呼ばれる集合研修と「環境ボランティアリーダー全社会議」から構成されており、年間50名のボランティアリーダーを養成します。集合研修の後、各リーダーが中心となって、それぞれの所属する部署や地域を巻き込んで、環境ボランティア活動を展開。活動を推進するためのバックアップもリコーが行います。

#### リコー自然教室

リコー自然教室は、全国事業所の社員に環境社会貢献の意義について理解を深めてもらうとともに、環境ボランティアリーダーの育成、そしてリーダーによる活動の実践を目的としたプログラムです。毎回15名程度の希望者を対象に、2日間の研修を行います。1999年度には3回のリコー自然教室を開催。環境NGOのひとつである「日本野鳥の会」の方々に講師をお願いし、さとやまの保全活動、バードウォッチングを通じた自然保護活動などについて学んだり、雑木林の伐採や、笹の刈り取りに汗を流しました。

### 環境ボランティアリーダー全社会議

1999年12月に、第1回「環境ボランティアリーダー全社会議」が開催されました。これは環境ボランティアリーダーの活動のフォローアップを目的としたもので、リコー自然教室で登録された34名の環境ボランティアリーダーが参加し、進行中の環境ボランティア活動に関する報告や質疑応答を行いました。メンバーは、会議で紹介された千葉県松戸市の「関さんの森を育む会」の活動にも参加しました。



環境ボランティアリーダー全社会議



千葉県「関さんの森を育む会」の活動に参加



環境ボランティアリーダー全社会議での自然観察会



リコー自然教室

### 環境ボランティアリーダーによる活動

環境ボランティアリーダーは、所属する事業所の社員やその家族をはじめ、環境NPO（民間非営利団体）やNGO（非政府組織）市民団体、教育関係の方々とともに、地域に密着した活動を展開しています。



鎌倉材木座海岸でのサンドクラフトとビーチクリーンアップ



奥多摩御岳周辺でのクリーンアップ



事業所近隣の小学生を招いての環境啓発活動



横浜「自然観察の森」での野外解説板づくり

### 森林保全社会貢献プログラム

リコーでは、質の高い緑を復元・保全し、地球規模の危機となっている生物多様性を保全するために、1999年度から「森林保全社会貢献プログラム」の運用を開始。原生林や自然林、さとやまの保全と復元を中心に活動を展開しています。

現在、緑の量を取り戻そうと、さまざまな企業や国家が中心となった植林活動が世界各地で行われており、ユーカリや松の単一種を植林するなどの例が数多く見られます。災害防止、二酸化炭素吸収による温室効果ガス削減が期待されることなど、評価できる点もありますが、生態系への配慮という観点では疑問があります。地球環境悪化を食い止めようとして緑をつくるのであれば、現地に元々あった種類の木を混植して、生態系を取り戻せる森づくりをすることが重要です。

もちろん、森林保全活動は、地元の住民の理解や協力がなければ実現できません。理解や協力を得るためには、環境教育がまず重要です。しかし生活が困窮しているエリアでは、環境教育だけでは森林保全は実現できず、循環型の森林利用や、森林復元のための植林や森林管理を通じて、地元の住民へ仕事を提供することも重要です。

#### 森林保全プログラム支援例

国名	NPO	プロジェクト内容
スリランカ	スリランカ野鳥学グループ	世界遺産地域の森林保全と復元
フィリピン	コンサーベーションインターナショナル	ホットスポット地域の保全と復元
ブルネイ	ラムサールセンター	マングローブ原生林の保全
マダガスカル	プロナチュラ	森林樹冠調査
バングラデシュ	ポーシュ	さとやまの復元
日本	日本野鳥の会	さとやまの保全と復元



リコーが贈呈した教材を使った環境教育(バングラデシュ)

こうしたことをふまえ、リコーでは、森林保全社会貢献プログラムとして1999年度から6つのプロジェクトをスタートさせました。すべて日本と現地の環境NPOとともに活動を行うことで、生態系や地元の住民に対して細やかな配慮をしている継続的なプロジェクトです。また、「環境ボランティアリーダー養成プログラム」とリンクさせ、社員の人材支援も行っています。



森林復元計画の打ち合わせ(スリランカ)



森林復元予定地の視察(スリランカ)

さとやま復元計画(日本)開墾作業



さとやま復元計画(日本)代かき作業



さとやま復元計画(日本)田植え作業

### NGO/NPOとのパートナーシップ

リコーは、幅広い考え方を学び、相互理解を深め、ともに活動を推進することによる相乗効果をあげるために、NGO/NPOとのパートナーシップを重視しています。WWFジャパンが推進する「温暖化防止ビジネスワークショップ」に幹事企業として参加し、1998年12月および1999年9月には、リコー青山本社を会場として提供。これは産業界とNPOが協力して地球環境を考えるための会合で、WWFジャパンと、約30の企業および団体、大学、マスコミなどが参加しました。



リコー青山本社での「温暖化防止ビジネスワークショップ」

### 社会貢献クラブ「Free Will」

リコーでは、社員が中心になった社会貢献活動を推進するために、1999年に社会貢献クラブ「Free Will」を結成しました。毎月、給与から端数を拠出して集めた金額を社会貢献活動に活用しています。決定した寄付先に、同額を上乗せする「マッチングギフト」制度によって、リコーもFree Willの活動をバックアップ。環境保全に関しては、サハラ砂漠で植林活動を実施しているNPO「サヘルの森」への寄付があげられます。寄付金は、苗木の購入に活用されました。



### 子供たちへの環境問題の啓発

リコーは、小中学生を対象としたホームページ「ECO TODAY\*」を制作。またCD-ROMも制作し、約120の学校や生徒個人に無料配布しました。オサム君とヒカルちゃんという二人の子供たちの会話を通して、身近な出来事から地球環境問題と自分たちができることを考えていく内容になっています。また、米国リコーコーポレーションでは、1999年春に、環境教育ホームページを立ち上げるとともに、ホームページ上で車のプレゼントをしたり、他社の協賛を得るなどの工夫をこらし、1年間で5億アクセスを達成。日本の代表的な環境ホームページへのアクセス数が年間200～300万件ということを見ると、このホームページの環境教育に対する貢献は大きいと言えるでしょう。この活動が認められ、米国リコーコーポレーションは、2000年米国エネルギー教育・啓蒙部門賞を受賞。民間企業としては唯一の受賞でした。 \*35ページ参照。

### 環境保全活動のノウハウの開示

リコーグループは、2000年3月現在、7つの事業所で、ごみゼロを達成していますが、そのノウハウの開示も積極的に行っています。リコー沼津事業所では、グリーン調達やリサイクル事例を展示し、多くの方々の見学を受け入れているだけでなく、環境先進自治体を目指している静岡県庁や沼津市役所などの視察・研修にも協力しています。



リサイクル活動事例展示(リコー沼津事業所)



リコー沼津事業所での静岡県庁幹部職員研修



リサイクル活動事例展示(リコー福井事業所)

### 事業所主催の地域に密着した活動事例

#### リコー社会環境室

片瀬海岸のクリーンアップと江ノ島自然観察、江ノ島海岸のクリーンアップ、荳崎での植林、手賀沼浄化のための植栽、新松戸でのさとやま保全活動

#### リコー福井事業所

ビオトープの開設、メダカの飼育・放流、重油災害復旧作業への参加、事業所近辺の清掃活動、安全祈願祭後の周辺清掃、酒井町社会福祉協議会への支援、「ハスの実の家」の福祉活動支援、車椅子寄付のためのアルミ缶回収活動

#### リコー沼津事業所

家庭で出たアルミ缶の回収活動、事業所周辺の清掃活動

#### リコー御殿場事業所

「どんぐりの木の会」セミナーに協力、どんぐりの苗木づくり

#### リコー池田事業所

池田市市民との環境交流会、「さとやまを守る会」プロジェクトでの植林・草刈り、事業所周辺の清掃活動

#### リコーユニテクノ

埼玉県環境保全会議への参画、市立公園への植樹、事業所周辺の清掃活動

#### リコーエレメックス

地域の小学生との環境保全活動、エコプラザの開設



家庭で出たアルミ缶の回収活動(リコー沼津事業所)



エコプラザ(リコーエレメックス)



約120の学校や生徒個人に無料配布された「ECO TODAY」



米国リコーコーポレーションの「エネルギースタープログラム」のホームページとCD-ROM